

ビーバー隊でザリガニ釣りにチャレンジしました。



9時30分にアヤメ園駐車場に集合です。今日から新たに一人入隊です。「よろしくネ！」各自MYロッド(釣竿)とタモ網を持って意気揚々です。



アヤメも満開で、休日なので見物の人たちがたくさんいました。ちなみに、アヤメ園内の動植物の採取は禁止です。



アヤメ園脇の用水路でザリガニ釣りスタート。用水路は沈殿した土(ベドロ状)のため落ちたらベトベトになっています。



巨大オタマン発見！
*ウシガエルのオタマジャクシです。
*解説①へ



本日の獲物①
*アメリカザリガニです。
*解説②へ



これはりっぱなハサミを持ったオスです。



なんかザリガニでない獲物が入っていますが？これは「キングオブザフロッグ」殿様ガエルではありませんか！



これも良い形のオスです。



これはメスです。
*ハサミが太く大きいのがオス・細いのがメスです。



本日の大物大賞！

隊長が、前日の夕方下見した時は、ビッグサイズがいっぱいいたそうなのですが当日は、日中のため泥の中に潜っていたようです。

それでも十匹はGETしました。子供の頃の感が蘇ったのか？昔取った杵柄か？はたまた親父の威厳を守るためか？一番真剣だったのは団長と父親達でした。

活動中は、曇り空で安定していたのですが、解散後、大荒れ模様で滝のような雨とカミナリでした。

*このあと、記者は車でホカ弁を買いに行きましたが、運転中大雨のため前が見えませんでした。

*弁当屋についても大雨のため外に出れないは、落雷で信号機は消えるは、常磐線も止まり踏み切りは開かないは大変でしたが、子供たちは初めての体験で楽しそうでした。

豆知識コーナー

・牛久沼周辺に生息する魚 * 赤字については記者が沼周辺で捕獲したことがあるものです。

サケ

ウナギ



昔は海から遡上して来ていたようですが、水門等が出来たため今は数が減少しているようです。

ちなみに牛久沼はうな丼発祥地だぞーな。

アユ

コイ

マブナ

ニゴイ

ワカサギ



ナマズ

ウグイ

タナゴ



昔からいたそうです。

ヘラブナ(ゲンゴロウブナ)

オイカワ

タモロコ



琵琶湖周辺から持ち込まれたそうです。

ツウギョ

レンギョ

カムルチー(ライギョ)

タイリクバラタナゴ



中国やアジアから、食用として利根川に放流されたものが、川続きでやって来たそうです。

これは観賞用でしょう。

ブラックバス



ブルーギル(テラピア)



在来種の小魚を食べてします悪いヤツラです。

アメリカ(ブルーギルは食用)からやって来ましたが、心無い釣り人が全国に広めてしまいました。

・牛久沼周辺に生息す甲殻類(エビ・カニ)

テナガエビ



モクズガニ



霞ヶ浦用水路ができたため霞ヶ浦からやってくるようになったそうです。

今回の大物外道(ウシガエル別名:食用ガエル)

解説①

オタマジャクシ

体長約13cm



持ち帰った00さんこうなりますヨ!

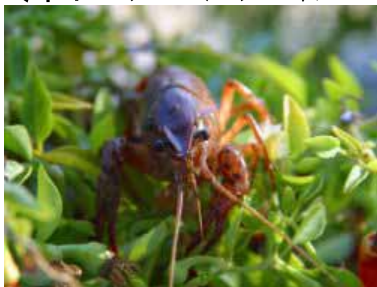
変身



体長約18cm

1918年アメリカのニューオリンズから食用のため移入されたそうです。たぶんJAZZ好きだと思います。鳴き声はウシみたいですが、記者も食したことがあります、若鶏の肉と似て美味です。

今回のターゲット(アメリカザリガニ別名:マッカチン・エビガニ) 解説②



1927年ウシガエルの餌として、北アメリカ南東部より移入されたものが、脱走したものが全国へ広がったそうです。原産地の北アメリカでは、食用に漁獲され地元の名物料理になっているそうです。記者も食したことがあります、そのへんのエビとかわりませんでした。ただし、田んぼの土手に穴を開けるは、稲の根を食い荒らす悪いヤツです。

このコテコテのページの文と写真は、保護者で参加したカブ隊の副長によるものです。